



開成町婦人会だより

責任者・会長 遠藤 敦子 編集・発行・婦人会広報部



5/24 舞台棟にて（あじさい農道草刈り）

「婦人会とイベント」

開成町教育委員会事務局参事

遠藤孝一

今年度も昨年同様、町のイベントがほとんど中止となり、予定されていた婦人会の活動も思うようにできない状態が続きストレスが溜まっていることと思います。

町のイベント、特にあじさいまつりの時のあじさい公園におけるお茶出しサービス、阿波おどりの時の冷水サービス。会員の方々がゲストと接する接客は、我々職員のお手本となります。

婦人会のパワーを感じたイベントは、なんとと言ってもひな祭りです。あじさい公園の舞台棟で始めたひな祭りも、あまりの盛り上がりから会場を瀬戸屋敷に移し、気が付けば町を代表するイベントに成長しました。これはまさしく婦人会の企画力と行動力がなせる業です。二年ぶりに開催を予定した「瀬戸屋敷ひなまつり」は、残念ながら中止となってしまいました。

今後、国産のコロナに対応した薬の開発が進んでいるなど、良い方向のニュースも耳にするようになってきています。婦人会の皆さんの笑顔があふれるまちのイベントが開催できる日も近いと思います。今後も感染対策に取り組みながら大いに活躍していただきたいと思います。

ってきました

since 2009

2012年 春の訪れ

2013年 桃の節句
桃の花を配し華やかさを表現した作品

2013年・2014年 大つるし

2年かけて、町制60周年記念のために作成しました。直径は1.5m 長さは2.4mです。ひとつるしに、お細工物は、なんと600個!! 三番叟・這い子人形・花・野菜・動物等々。一つ一つみんなで心を込めてふたつのつるしを作りました。ひな祭りには、瀬戸屋敷に飾ります。

2012年 くぐり猿

この年は、東日本大震災後、一日も早い復興を願って1000個のくぐり猿も作りました。



2016年 千支の羽子板



2014年 お雛様と巾着
五弁の巾着の底にもお細工して、袋の中には可愛い男雛、女雛。人気の作品です。

2015年 らせんのくぐり猿

等間隔にらせんにするのは至難でした。美しいグラデーションに仕上がりました。



2015年 紫陽花と四季
町の花、紫陽花をテーマに四季の花や実を配し、ひも先にも工夫した美しい作品です。

高橋富枝さん、橋口裕子さんから始まった、つるし雛作り。2009年からは蓑田容子さんが指導してくださっています。デザイン・試作・図面起こし・布の調達・カット等々。本当にありがとうございます。そして、これからもよろしくお願いいたします。

瀬戸屋敷ひな祭りに彩りを添えるため、会員さん手作りのお雛様やつるし飾りを飾れたらと思いました。試行錯誤を重ね、これまで、たくさんの作品を皆さんと作製してきました。作品一つ一つに完成するまでのエピソードが思い浮かびます。特に完成された時の達成感の笑顔こそが作品作りの原動力となってここまでこれたのだと思います。

コロナ禍であっても工夫して和気あいあいと活動、部員の皆さんのご協力を頂いて今年も可愛い作品が出来上がりました。

蓑田 容子さん 談



ごんぽに創

つるし雛の歴史

2009年

立ち雛のタペストリー & 立ち雛つるし飾り



蓑田さん指導の初めての作品。
出来栄えに歓声が上がりました。

2010年

箱入りお手玉雛



箱の中に全部納まり、
お客様にも大好評！

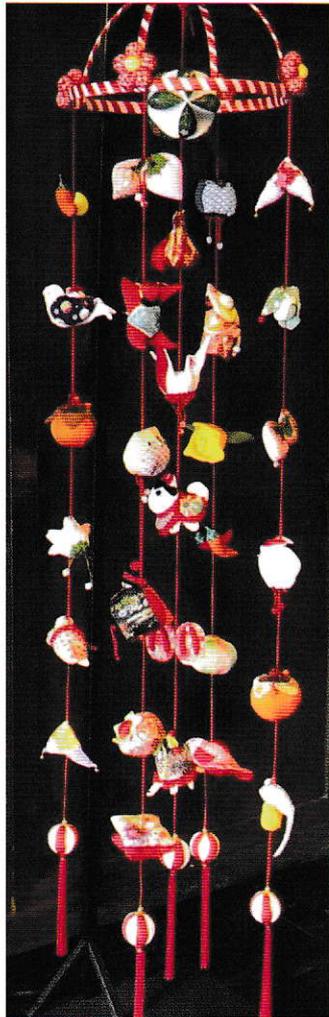


2011年 五角吉祥袋と招福

五角吉祥の底の一つ一つに意味が
あり、重厚な作品に仕上がりました。

2018年

女の子の輪下げ



2017年

雛の輪下げ



自分の干支や好きな干支に挑戦。



雛をつるす
テグスに苦戦
しました。
この年は、傘福
もふたつるし
作りました。

2020年

重陽の飲び



2021年

端午の節句



2019年 令和のつるし飾り

大きな輪飾りを支部単位で
15つるし作り上げました。

コロナ禍で人数制限などしながら、短時間で仕上げました。



あじさい農道の草刈り 露木実千代

あじさい祭りは中止でも、町の花が彩ってきた、5月24日に草刈りがありました。円陣になり、開成音頭を口ずさみながらの準備体操で身体をほぐし、カマを片手に草刈りへ出陣。場所はアナベルが咲く通りです。大きく太くなった雑草や、ツルが絡みついている雑草に驚き悪戦苦闘…！これまで経験してきた枯れ花摘みより、力のいるなかなか大変な作業でした。毎年多くの皆さんのご苦労や協力があって、きれいな花を咲かせてきたのだと改めて実感できました。お疲れ様でした。



えんじょい 部活動

民踊部

瀬戸妙子

今年度、色々なイベントが中止になり、舞台に立つことが出来ませんでした。七月と十月に舞台棟で、ストレッチと踊りの練習をしました。その後、部員さん達とお茶を飲みながら、お話が出来て良かったです。十月のレクリエーション大会では山北婦人会の人達と、久しぶりののびのびと踊る事が出来て楽しく交流が図れました。まだまだコロナ不安がありますが、早く収束して安心して活動ができる年になりますよう会員の皆様と頑張りたいと思います。



久しぶりのレクリエーション大会 石井長子

山北婦人会と合同で10月21日(木)に足柄上婦連のレクリエーション大会が開成町福祉会館で行われました。井上教育長のお話と指を使った頭の体操から始まりました。思う様に頭と指が連動せず日頃の訓練の必要性を感じました。社会教育主事兼指導主事の小林先生、土肥先生のご指導で〇×クイズやゲームなど、密にならないプログラムでした。それぞれの婦人会の踊りが披露され、最後に先生方も飛び入り参加されて全員でビューティフルサンデーを踊り楽しい時間を過ごしました。

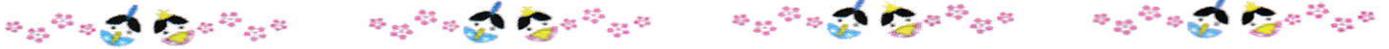




福利厚生部（手芸） 鈴木明代

今年の手芸は「端午の節句」です。男の子の健やかな成長を祈願したものです。初めての役員で、試作を先にしたものの私よりベテランの皆さんにお教えするなんて…と心配しておりましたが、蓑田さんはじめ、役員の皆さんに助けられ、無事何回かの手芸教室を終えることができました。

それぞれに素晴らしい作品が出来上がりました。完成した喜びと嬉しそうに持ち帰る皆さんの顔が目に焼き付いています。



福利厚生部（一般） 石井ヨウ子

6月7日、岡野方面をウォーキングしました。いつもは、あじさい祭りの手伝いで、花を楽しむ事も少ないので、今年は、ゆつくり散策しようと民踊部と福利厚生部と合同で行いました。あじさい公園の周辺は見慣れています、岡野方面はまた違った風景を見ることが出来、のんびりと久しぶりに皆さんと話に花を咲かせました。

高齢者に必要なのは「きょうよう」と「きょういく」だそうです。「今日の用事」と「今日、行くところ」です。

私達に必要な「ことば」だと思いました。

広報部 中原通子



カメラで撮った写真やスマホで送られてきた画像をパソコンに取り込んで操作するという経験がなかったので、最初は手探り状態でした。少しずつ周りの人たちに助けて頂きながら出来る様になりました。少しづつ周りの人たちに助けて頂きながら出来る様になりました。少しづつ周りの人たちに助けて頂きながら出来る様になりました。少しづつ周りの人たちに助けて頂きながら出来る様になりました。

です。ご協力に感謝します。





元気 IN 支部活動



下延沢 **村井千賀子**

十一月に計画した「ざる菊を見る会」が、荒天候のため実施できなかったのが、それに代わる支部活動として、一月に自治会館で食事をしました。三密を避けるため、席を離し、換気している室内は少し寒かったものの、久しぶりに皆で集まっておしゃべりしたり、美味しいものを食べたりして、気分はほっこり暖かでした。お弁当には「露の臺」の天ぷらも入っていて、春を先取り。楽しい時間を過ごしました。

金井島 **遠藤幸子**

今年もコロナがなかなか終息しない日々で支部活動がすべて中止となる中、公民館の掃除を実施しました。部屋の中を見回して、「障子張替え」 前回の張替えからだいぶ時間が経ち、破れたり剥がれ始めていました。「食器棚整理」 食器をすべて洗い、下敷きを換えさつぱりさせました。「トイレ掃除」 使ってなくても黒ずみ、黄ばみがひどく、落とすのに苦労しました。婦人会の手際の良さと底力ですっきり爽やかになりとても喜ばれ、私達の心もほっこりしました。



円中 **宮川鈴江**

昨年に引き続きコロナ感染が収まらず町や自治会行事が次々と中止になり、婦人会活動も中止せざるを得ない状況になりました。何とか会員が顔を合わせる機会をと八月に手芸教室を行いました。天野さんの指導で「お出迎えるさぎ」を作りました。三密を避けながらも、久しぶりに会う喜びでマスクの中からの会話も弾み楽しい時を過ごしました。出来上がった作品は自治会文化展に昨年の婦人会作品「重陽の歓び」と共に出品し多くの方に見て頂きました。

上延沢 **矢口照江**

支部の会員は八名です。年齢は四十代から八十代で、まるで家族の様な仲間です。自治会館の掃除に始まり、夏祭り、阿波踊り、文化祭の参加。加えて一年に三回のウエス切りは古着や布を囲み皆が揃う良い交流の場でしたが、会社の都合で今回で最後になりました。コロナで色々の行事が中止になり、寂しい中、支部では着物姿の女の子の押絵を作りました。仕上がった作品を並べると色とりどりの着物が華やかで、踊っている様です。食事会では食卓に一品増やせる様に料理の勉強もしています。



牛島 露木ユキ江

自治会・婦人会活動が自粛される中、僅かに感染者数が減少した頃、支部会員から、「茶話会」を開いたらどうかとの要望があり、感染予防を徹底させて、十一月十五日に自治会館で開催しました。久しぶりに会えて、簡単な飲食、紙面による伝言ゲーム、記憶力チェックゲームで一喜一憂し、一時間半程度でしたが、楽しく親交を深めることが出来ました。一日でも早く、マスクなしで楽しく笑って、食べて、おしゃべりできる日が来るといいですね。



上島 森田セツ子

月二回の朝の挨拶と下校時パトロールを駐在所を含め、二か所で行っています。毎年ゴキブリ団子を作り公民館に置き、会員の人も分けています。又、コロナ禍で大変でしたが、手芸で恒例の干支の「寅」を作りました。様々なトラの置物が出来ました。みんなでマスクをつけて、楽しみながら作りました。十二月には公民館の座布団カバーを洗濯し、皆さんに気持ちよく使ってもらっています。少ない会員ですが、時々電話して様子を伺いながら連絡を取り合い元気で楽しく頑張っています。



下島 小野暁美

コロナ禍でイベントが中止になる中、感染予防しながら、落花生掘りに行きました。「元気だった？」と久しぶりの再会を喜び「落花生掘りもたまには良いよね」と笑顔が絶えませんでした。これは、支部の秋の恒例のイベントだったのですが、ここ二年は中止になっていました。自粛、自粛で外出することもままならなかったため、自然に触れられ、笑顔が絶えないイベントは、気分転換には最高でした。隣の畑のさつま芋掘りもしてきました。

榎本 佐野則子

去年同様、コロナ禍で支部活動はあまりできませんでした。そんな中でも、春と秋に花めぐりウォーキングをしました。春は松田山の桜咲く最明寺へ。空気も空も桜もキレイでお昼のおにぎりも美味しく感じました。又秋は南足柄・小田原方面に、秋に咲くひまわり、バラ、ざる菊を見に行きました。和気あいあいと楽しい一日を過ごすことが出来ました。マスクをしながらも花を見てみんなとおしゃべりすることは、何かが穏やかになります。早くコロナが終息して活動ができるといいなと思います。



令和3年度の活動写真



令和3年度活動報告

4月	8日、婦人会総会、資料配布 定例会	10月	21日、上地婦連定例会
	23日、上地婦連総会	11月	19日、パークゴルフ大会（山北町）
5月	24日、あじさい農道草刈り	12月	2日、定例会
6月	7日、ウォーキング	1月	13日、定例会
7月	7日、上地婦連定例会		21日、パークゴルフ
	8日、コロナワクチン集団接種モニターボランティア	2月	3日、定例会
	28日、定例会	3月	3日、定例会
8月	13日、オリンピック聖火トーチ採火式（瀬戸屋敷）		16日、上地婦連会計監査、定例会
9月	16日、折鶴仕上げ		22日、会計監査、
10月	21日、上地婦連レクリエーション大会		31日、役員引き継ぎ

編集後記：一年間、皆様のご協力を頂き、ありがとうございました。広報部一同